

# 平成27年度 新潟市図画工作部 活動報告

部長 中村 晶子

## 1 研究主題

「感性を働かせて、自分の思いを表す子ども」  
～みることでつながるひろがる表現活動～〔3年次〕

## 2 研究の概要

図画工作部では、目指す子どもの姿に迫るための働きかけとして、2つの「みる活動」を学習過程の中に位置付け研修を積み重ねてきた。「みる活動1」は、発想や構想の手がかりとなる導入時の働きかけである。「みる活動2」は、構想を深め、表現方法を工夫する展開時の働きかけである。表現および鑑賞の活動において計画的、意識的に「みる活動」を位置付けることによって形や色の面白さや造形的な特徴に気付かせ、そこから得たイメージを表現や鑑賞の活動に生かす学習過程を展開した。「みる活動」が感性を働かせるきっかけになり、自分の思いを豊かに表すための有効な働きかけになるかどうか検証してきた。

## 3 研究の実際

### (1) 研究授業

・題材名「まだ見ぬ世界」 矢代田小学校5年 鵜川あずさ教諭  
「みる活動2」として、製作途中の平面作品を見合い、互いの表現のよさや工夫を、色や形などの造形要素に着目して話し合った。自他の表現のよさに気付くとともに、友達の表現やアドバイスを自分の作品に生かそうとする子どもの姿も見られた。

### (2) 実践報告会

各会員が行った「みる活動1, 2」を取り入れた授業の実践報告をもとに、効果的な働きかけや子どもの変容等について、小グループで話し合った。その結果を共有し、「みる活動1, 2」を行うことで研究主題についてどのような成果と課題があったかを具体的に確認できた。

### (3) 水と土の芸術祭 関連事業

・絵本作家 荒井良二さんによるワークショップ参観（旅の絵巻ものがたり）  
大野小学校3年 コーディネーター 渡辺富美子教頭 中村 晶子教諭  
「みる活動1」では、作家の話や自由に表現する姿に触発され、子どもたちは思いのままに表現していた。「みる活動2」では、作家が子どもたち一人一人のかいた絵巻に製作過程を称賛するコメントをした。子どもたちはそのコメントで自分の表現に自信をもち、別の題材でも自由で大胆な表現方法を試すようになった。

### (4) 美術館鑑賞研修

会場 新潟市美術館  
アートカードを使った実践を数例、学芸員から紹介してもらった。ゲームの要素を取り入れた鑑賞活動は、本物の作品を鑑賞するための基礎となった。「鑑賞研修前よりも、研修後の方が本物の作品を鑑賞したときの感動や驚きが大きく、み方が深まる。」という会員の感想が多く寄せられた。

## 4 成果と課題

新潟市の授業づくりに基づいた授業研究、及び一人一実践において、まとめに正対した質の高い学習課題が設定できるように研修を進めた。

各会員による実践報告会は今年度が初めての実施である。「みる活動ってどこがいいの？ワイワイガヤガヤ考えよう！」というテーマで実践報告したことで、研究内容をより理解することができた。情報交換は、これからの授業に生かすことのできる内容となった。実践の報告で「みる活動1, 2」が子どもの表現活動をつなげ広げるために有効であることを確認できた。また、水と土の芸術祭の関連事業や美術館鑑賞研修を開き、会員の経験を広げる研修を行うことができた。

来年度は、様々な場面での「みる活動」のより有効な設定・方法の在り方について条件を明らかにしていきたい。